

入学式の「学校長式辞」(後編)です。

前号(第325号)でお知らせしたとおり、4月7日(土)の「茨城県立並木中等教育学校 第11回入学式」における「学校長式辞」(全文)の後編をお届けします。

◆4月7日の入学式での「学校長式辞」—後編—◆ テーマ:「モネ先生に学ぶ」

- **1つ目**は、時には下書きなしに思いっきり絵を描いてほしいということです。もちろん、計画を立てて慎重に物事に取り組むことも大切です。しかし、**直感、感性、新しい発想、豊かな創造力**も大切にしてほしいと思います。本校には、**真っ白なキャンパス・画用紙**が用意してあります。一緒に絵を描いてくれる素晴らしい先輩たちや、話し合える仲間もいます。適切なアドバイスしてくれる優しい先生方もいます。どうぞ、6年間、**伸び伸びと**自分の才能を伸ばしてください。
- **2つ目**は、「**探究する心**」を持って欲しいということです。モネが、同じ場所で移りゆく光の変化に着目して連作を残したように、物事を深く見つめ探究して欲しいと思います。幸いにも、本校は、文部科学省の**スーパーサイエンスハイスクールの指定校**です。「科学教育」はもちろんですが、全ての教科で「**アクティブ・ラーニング**」を推進し、「探究する心」を育てていますので、皆さんは、本校の授業に一生懸命取り組んでください。
- 皆さんは、今日、学びのスタートラインに立っています。先生に指示されたことだけでなく、自分から進んで学んでほしいと思います。私は、そのような人を「**アクティブラーナー**」と呼んでいます。日本語では、「**能動的学習者**」です。能動的に、積極的に学ぶと、毎日が明るく楽しく充実します。本校は、そのような「アクティブラーナー」にとって、最高の学校だと思います。
- **最後の3つ目**は、「**夢**」を持ってほしいということです。モネの夢は移りゆく「光を描くこと」でした。皆さんが、まず描く夢は、「**小さな夢**」でもいいと思います。身近な夢を設けて、並木中等生として一步一步着実に歩んでください。皆さんには、「**充分な時間**」と「**豊かな空間**」があります。そして、6年後には、日本の未来や世界の未来を支えるような「**大きな夢**」を語れる若者に成長して欲しいと思っています。我々は、皆さんの**夢の実現**のために、全力を尽くします。一緒に、頑張りましょう。
- 結びに、保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員は、本日から、新入生の皆さんの未来のために、一生懸命努力いたします。皆様の中には、並木中等の勉強について行けるだろうかといった不安をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、本校には、たいへん優秀な教職員がそろっております。また、**一人一人の生徒**に対して、親身になって丁寧に対応して参りますので、どうぞ勉強のことは、安心して学校にお任せください。
- 新入生の皆さんの毎日が、**夢**のある充実したものとなりますことを心からお祈りして、式辞といたします。

平成30年4月7日 茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司

